

## 第1回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会議事録

日時 平成29年7月9日(日)

14:50～

場所 直島町総合福祉センター 会議室

出席委員(○印は議事録署名人)

永田委員長

武田副委員長

○岡市委員

○河原委員

堺委員

鈴木委員

高月委員

中杉委員

松島委員

### I 開会

○(県)第1回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会を開催する。まず、委員の紹介をする。早稲田大学名誉教授、永田勝也委員。京都大学名誉教授、武田信生委員。香川大学名誉教授、岡市友利委員。岡山大学名誉教授、河原長美委員。日本サステナビリティ研究所代表、堺孝司委員。神戸大学名誉教授、鈴木三郎委員。京エコロジーセンター館長、高月紘委員。高月先生におかれては、本日都合により欠席している。国立研究開発法人国立環境研究所、環境リスク・健康研究センター客員研究員、中杉修身委員。香川大学工学部安全システム建設工学科教授、松島学委員。よろしく願います。

次に豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会委員9名のうち、8名が出席していることから、本委員会の設置要綱第6条第2項により、委員会の成立を報告する。

続いて委員長、副委員長の選任を行う。設置要綱に基づき、委員の互選ということであるが、事務局としては、これまでの経緯もあり、事務局としては管理委員会に引き続き委員長は永田委員に、副委員長は武田委員をお願いしてはどうかと考えているが、いかがか。

○(委員)異議なし。

○(県)永田委員、武田委員、よろしく願います。それでは豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会設置要綱第6条第1項に基づき、永田委員長が会議の議長となる。以降の進行についてよろしく願います。

## II 議事録署名人の指名

- 議長が出席委員の中から、岡市委員と河原委員を議事録署名人に指名した。

## III 傍聴人の意見

### <公害等調整委員会>

- (公調委) 気持ちを入れ替えて、あらためてよろしく願います。  
これまで、具体の廃棄物というものを平成28年度末までに除去するという  
ことで、進めていたわけだが、今度は、地下水の浄化が課題ということで、期限も特段切ら  
れているわけではない中で、できるだけ速やかな原状回復を願っている。これから審議  
をよろしく願います。

### <豊島住民会議>

- (住民会議) 技術検討委員会、そして技術委員会、先ほど最後の回が終わった管理委員  
会、そして、新たなページを開いたフォローアップ委員会。長い先生で20年を越えて  
お世話になっているが、われわれは、当初考えた共創の理念で今後とも進んでいって、  
新たな価値観、新しい豊島をつくっていく覚悟なので、どうぞよろしく願います。

### <直島町>

- (直島町) 直島側としては、中間処理施設の撤去が、三菱マテリアルへの譲渡と合わせ  
るという形で必要な指導をお願いしたい。
- (委員長) 特段、事前に対応する話はなかったかと思うので、議事に入る。議事は、議  
題が3つあるが、まとめてやってしまうということで、どうぞ。

## IV 審議・報告事項

### 1 豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会及び関連検討会の構成と活動内容 (審議)

#### 【資料Ⅳ-1】

- (県) 先ほどの管理委員会です承された設置要綱を別紙1から別紙3として3ページ目  
から10ページ目にかけて付けている。確認してほしい。9ページ目を開いてもらい、  
豊島事業関連施設の撤去等検討会議の設置要綱のところ、直しきれていないところ  
があり、申し訳ない。任務、第2条のところ、(1)、中間処理施設及び豊島内施設の管  
理となっているところで、これを「(1) 中間処理施設及び豊島内施設並びに豊島処分  
地の管理」ということに訂正をお願いする。それと、10ページ目、委員名簿のところ、  
最後に鈴木三郎先生、神戸大学名誉教授の鈴木先生の名前を、委員の中に加えてもらい  
たいと思う。

それでは1ページ目に戻って、それぞれフォローアップ委員会と2つの検討会について、再度確認させてもらう。まず、豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会だが、四角で囲って所掌事務を記載している。事業の全体計画、年度計画の策定及び改訂。事業の進捗状況の確認。豊島処分地の地下水及び雨水の管理と対策。中間処理施設及び豊島内施設の管理並びに施設撤去に係る計画の策定及び実施等（海上並びに陸上輸送の管理も含む）。それと、豊島処分地の管理。溶融スラグの品質管理及び溶融スラグを使用したコンクリート構造物の経年変化の確認等々である。それらについて、指導、助言、評価等を行ってもらおうということになる。

次に、その内部組織として設置する検討会で、フォローアップ委員会の所掌事務のうち、豊島処分地地下水・雨水等対策検討会は、下の四角に囲っている所掌事務に記載のとおりで、豊島処分地の地下水及び雨水の管理と対策等について、また、各種の試験、環境計測、モニタリングの実施、結果の評価等もお願いすることになる。

2ページ目が、豊島事業関連施設の撤去等検討会で、これも1番の(1)のところ、中間処理施設及び豊島内施設の管理について、豊島内施設の後に、「並びに豊島処分地」を入れてもらい、豊島処分地の管理という表現に修正をお願いする。それらについて、撤去等検討会においては、指導、助言、評価等を行うとともに、フォローアップ委員会の諮問に応じて審議を行い、その結果をフォローアップ委員会に答申するものである。

**【1～3を一括して議論】**

## 2 平成29年度の委員会及び関連検討会が関与する事業の概要（審議）【資料Ⅳ-2】

- （県）フォローアップ委員会、地下水・雨水等対策検討会、それと撤去等検討会が関与する平成29年度の事業の概要と工程である。主な事項として、3つ。まず、豊島処分地の地下水浄化である。概況調査で排水基準値を上回った区画においては、詳細調査を行い、浄化が必要な範囲を絞り込んだうえで、効果的な対策を検討する。また、現在の処分地は多数のつぼ掘りが残されており、現状のままでは地下水対策が実施できないことから、切盛土工を行うとともに、揚水設備の設置等を行う。さらに、D測線西側については、集水井を追加設置して、浄化効果を把握する。以上のことなどについて進めたいと考えている。次に、豊島・直島の施設等の撤去に関するところで、この最後のセンテンスのところ、豊島・直島とも、今後、堆積物の除去・除染作業を開始し、豊島の中間保管・梱包施設、特殊前処理物処理施設については、平成29年度中に撤去工事を完了する予定としているところである。3つ目、副成物の有効利用。製砂スラグについては、6月末時点で約56,000トンを保管している。引き続き、土木用材料として公共工事等で有効利用していく。また、直島環境センターに保管している粗大スラグ約8,100トン、それから、仮置土約2,600トンについては、平成29年度中に三菱マテリアル株式会社九州工場でのセメント原料化処理が完了する見込みである。2ページ目、表1として、平成29年度の工程を記載している。この4月の管理委員会で

審議したものに、一部修正しているところがある。7月の下旬のところに点線を引いているが、これが今日の時点ということで、以降、管理委員会による指導・助言等が、フォローアップ委員会の指導・助言等になるところである。それと中間処理施設の運転管理等が、現状から8月上旬にかけて除染等廃棄物の処理を行うといった工程を、それぞれの項目ごとに記載しているところである。それから、3ページ目の別紙1から別紙2、別紙3と、A3のものを3枚付けている。これは、平成29年1月に開催した第44回管理委員会で承認された、今後の主な工事の概要である。地下水浄化関連工事、3ページ目の区分のところに①から⑧まで書いているが、①地下水浄化関連工事、②スラグステーション撤去工事、③直島中間処理施設及び関連施設撤去関連工事、④豊島内施設撤去関連工事としまして、⑤第Ⅰ期、⑥第Ⅱ期と分けて書いている。それと、⑦番目に遮水機能解除関連工事、それから、最後に⑧処分地整地関連工事の区分に分けて、それぞれ内容、スケジュール等を記載しているのので、確認してほしい。ここでも誤記載があり、⑦の遮水壁機能解除工事と⑧番目の処分地整地関連工事の内容の欄で、ここに豊島廃棄物等管理委員会と記載しているが、これは、豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の誤りである。失礼した。これも訂正をよろしく願います。4ページ目の別紙2は、それぞれの工事の区分ごとに工程表を載せている。次の別紙3では、豊島内施設関連工事に関して、第Ⅰ期工事、第Ⅱ期工事に分けて記載した図である。第Ⅰ期工事が青色で囲んだり塗ったりしているところ、緑文字が第Ⅱ期工事のところである。それぞれ確認してほしい。6ページ目の別紙4については、今後の主な調査等の概要で、これは豊島、直島に分けて、それぞれ環境計測、周辺モニタリング等の調査の内容、スケジュール等を記載したものである。

### 【1～3を一括して議論】

## 3 平成29年度の委員会及び関連検討会の開催時期と主な審議・報告事項（審議）

### 【資料Ⅳ-3】

- （県）一番最初のフォローアップ委員会で、今後、第2回目を9月ごろ、3回目を3月ごろに開催したいと考えている。現時点で想定している主な審議・報告事項については、表1のとおりで、白丸が審議事項、黒丸が報告事項という形で示している。なお、平成30年度以降については、年2回程度の開催を考えているところである。

次に2番目の（1）地下水・雨水等対策検討会で、ここも記載誤りがあり、「29年度は6月18日に1回目を開催し」となっているが、6月18日に開催しているのは排水・地下水等対策検討会であるので、今後2回目となっているが、第1回目を8月ごろに開催することを考えている。2回目以降は、これまでと同様、必要の都度、開催すると、このように修正してほしい。現時点で想定している審議・報告事項は、地下水・雨水等対策の今後の進め方と具体的な対策の検討、地下水概況調査、詳細調査等の状況、地下水モニタリング調査の結果について、審議等をお願いしたいと考えているところ

である。

2 ページ目(2) 豊島事業関連施設の撤去等検討会だが、平成29年度は、本日の管理委員会の議題にも挙げたが、つぼ掘り部の整地とトレンチドレーンの撤去等に関する検討を7月から8月ごろに実施して、さらに11月ごろにも開催を考えているが、これまでと同様、必要があれば、回数を増やして開催したいと考えている。現時点で想定している主な審議・報告事項は、つぼ掘り部の整地とトレンチドレーンの撤去等の検討、それと、施設等の除染完了、または撤去完了の確認及びその結果等について、審議等をお願いしたいと考えているところである。また、書き切れていないが、先ほどの管理委員会の話の中でもあった、栈橋の撤去等についても検討をお願いしたいと考えている。

最後に、健康管理委員会は、今後、2月ごろに2回目の開催を考えており、作業環境測定結果、作業員の健康診断結果、施設等の除去・除染、解体・撤去時の作業現場巡視結果について、審議等をお願いしたいと考えているところである。

### 【1～3を一括して議論】

- (委員長) はい、どうもありがとうございます。いかがだろうか。
- (委員) 資料IV/2の3ページ目で、①のスケジュールのところに、「平成28年度で概況調査に伴う工事が終了し」とあるが、どういう意味なのか、よくわからないのと、概況調査自体は平成29年度も、少し横に、D測線西側まで拡大してやってほしいというのはお願いしているので、そういうことにはたぶんならないだろうと、そのように書いてほしい。

それと、そういうふうに読めるかどうかかわからないが、掘り下げてやるという対策、工事を、規模を縮小してでもいいから、早めにやってみてほしい。やってみたいということである。実際にそれをやってみて、どういう状況になるのか確かめたいというところがある。まだ浄化対策の方法が確立しているわけではないので、部分的にやってみて、どういう状況になって進めていくかということを確認しながら、議論していきたいと思っている。それをぜひ入れてもらいたい。
- (委員長) ちょっとこの資料だが、これは実は前に議論して、一応、これで確定バージョンにしたものが、表題だけ、「撤去事業等」を「撤去等事業」に換えさせてもらったという話である。今後予定される工事というのは、こんなものがあるのではないかと、概要はこうだというのを書かれたわけで、今、委員が言われた話は、平成29年度にこういう内容でかなり詳細なことをこういう格好で進めるという話なので、それを全部ここに書き込むと、少しバランスが悪いかと思う。
- (委員) 最初の部分は、記述が間違っているということである。
- (委員長) そう、少しその書き方を修正してもらおう。
- (委員) あとは、具体的な話として、これで読めるか読めないか、まあ、読めると言えば読めるのだけれども、そういうことを少し頭の中に入れておいてほしいということ

である。

- (委員長) わかった。これは、例えば、内容が既に済んだものも出てきたりして、改訂していかなければいけないだろう。改訂のときには、必ず日付を入れて、そのときの改訂バージョンだという形で残していつくれるか。だから、今の話を改訂させると、日付入りの改訂バージョンになってくるので、今日入れた意見なので、今日の日付で改訂バージョンをつくらう。先ほどの豊島廃棄物等管理委員会というのも改訂しなければいけないので、それも直していくし、いろいろ出てくるかもしれない。ただ一方で、改訂していくときに、これは終わったというのを何かの格好で明示していきたいので、書式をもう少し考えてもらえるといい。終わったものもどこかに記載しておくという形になるのかもしれない。ただ、それが済んだか、済まないのか、いつ行われるのかというのがわかれば入れさせてもらう。

フォローアップ委員会、検討会との関係は、これまでのそれぞれの管理委員会と検討会との関係というのも意識しながら考えているわけだが、できれば、計画してもらったものを承認して、あるいはそこで修正して、早く進めなければいけないものも出てくる。ただ一方で、フォローアップ委員会のほうできちんと審議してもらいたいものも出てくる。そのへんの切り分けをやってもらったうえで、いわば、それぞれの検討会がかなりの決定能力というか、それで、一応、指導・助言の話は終わったという格好で対応してもらい、その流れをつくっていったほうがいいのか。そのほうが迅速に対応できる。ただ、その中で、例えば、傍聴人の方々が、どうもそれでは話が違うではないかという問題があるときは、事務局のほうに言ってもらって、フォローアップ委員会にかけてもらうという形で、そこで決定する事項と、フォローアップ委員会に挙げる事項というのを少し切り分けて議論してもらおうということをお願いしておきたいと思うので、よろしく対応をお願いします。

もう1つ、資料Ⅳ／1の四角で囲った中の、例えばこの所掌事務という書き方で出てきたときに、誤解を与えないかなど。次のページを見ると、所掌事務と書いてあって、この下に対して指導・助言を行うのが所掌事務なので。ところが、所掌事務の枠の中に、県がやるべきことが書いてあるわけだ。少し何か、枠で囲ってある部分の所掌事務というのを変えたほうがいい。

そういう意味では、先ほどの資料Ⅳ／2のほうで、委員が言われた話、その後で今度は施設撤去の話が、1ページ目のところに出てくるわけだが、ここでも少し気になったのは、専用栈橋の話が書いていない。それから、スラグステーションの話も書いていない。もう1つ言わせてもらおうと、撤去の話としては、トレンチドレーンの話の検討も出てくるわけである。それから、貯留トレンチの話も出てくる。もう少しここは精査して、やるべき内容を表現しておいたほうがいいのかと思う。撤去の検討のときに、ガイドライン、マニュアルを定めたけれども、どちらかというと、さっきの環境計測にもあったように、陸上構造物の撤去を中心に書いてしまっているものだから、どうもそ

ういう意味では、対応構造物やさっきのようなトレンチなどが抜け落ちているという印象がある。もう一度そこは検討したほうがいいと思う。その資料の中では、別紙2も、そこに図が出てきて、第I期工事の中では、平成29年度、トレンチドレーン以外と書いてあるので、では、トレンチドレーンはどこで検討するのかという、それが出てくる箇所はあまり見当たらないわけである。こういうのも抜け落ちている箇所だと思うので、これも変えてもらいたい。

それからもう1つ、資料IV/3で、地下水・雨水等対策だが、これまでと同様、必要の都度、開催するという格好になっているが、これは豊島側の1つの焦点なのである。そうするともう少し、このくらいの時期に開催するということは、決められないのか。

- （委員） まあ、予定はこのくらいだということにして、それは変更するとか。
- （委員長） それでもいい。それで変更になるのは構わないので。それを次回のときにも。
- （委員） 少なくとも3か月に1回はやらなければいけないと思っている。たぶん、それより短いスパンになるだろうと思う。
- （委員長） そうか。少しそのへんの間隔をきちんと表現できるようにしてもらって、開催時期あるいは開催頻度を明記しておいてほしい。

先ほどの2ページ目の裏の撤去の検討会のほうは、もう少し項目をきちんと整理して書き加える。だから、このへんの資料は全部、修正しなければいけないと思う。

あとはいかがだろうか。よろしいか。実は、このついでにと行ってはいけませんが、開催時期を決めなくてはいけないというか、次回のフォローアップ委員会はいつか。

- （県） 次回のフォローアップ委員会については、9月17日の日曜日をお願いしたいと思う。時間や場所等については、また連絡する。時間については、いつもと一緒に昼からになると思うが、場所はこれから探す。
- （委員長） 基本的には、高松でやるということか。
- （県） フォローアップは高松でやらせてもらえればと思っている。
- （委員長） それから、撤去のほうの委員会もちょっとついでに。
- （県） 撤去のほうの検討会については、今のところ7月30日の日曜日を予定している。開催場所については、先生方の都合を伺いたいと思う。
- （委員長） いや、それはもう京都でやると決めてしまってほしい。
- （県） 鈴木先生も神戸なので、京都のほうがたぶんやりやすいような気がするので、恐れ入るが、京都のほうでやらせてもらえればと思う。
- （委員長） そういうことでよろしいか。それでは、最後にまた傍聴人の方から意見を頂戴する。

## V 傍聴人の意見

### <直島町議会>

- （直島町）特にない。

### <豊島住民会議>

- （住民会議）2点ある。1点目は、資料Ⅳ／2の3ページ目の別紙1の表、工事の内容で⑦の遮水機能解除関連工事のところ、遮水機能を解除したときに、土堰堤そのものの強度とか、健全性みたいなものはどうなるのかというようなことも示してもらわないといけないのかなと思うので、その検討をお願いします。
- （委員長）その中で検討してほしいということか、土堰堤を保全するなら。
- （住民会議）その中で併せて、はい。
- （委員長）ただ、ここはそこまで突っ込んで書くのか、調停条項ではこう書いてあり、それも踏まえたうえで協議して、議論して計画して実施するという、その中での検討事項ということか。
- （住民会議）はい。
- （委員長）わかった。意識はしておく。
- （住民会議）2点目は、少し似ている話だが、地下水の検討会は8月と書いてあるので、決まっているのであれば、日程を教えて欲しい。
- （委員）だいたい8月末になると思う。
- （委員長）今日は決められないのか。
- （県）つぼ掘りのデータを取れるところは取るという話があったり、集水井について、先進のところのデータを見に行きたいと考えており、一定の時間が必要になると思う。
- （委員長）どのくらいで決められるのか。いつごろか。
- （委員）今、ほかの先生方と相談して、一番の候補は8月27日の日曜日と思っているが、今日の午前中、技術アドバイザーの先生がいるとき、その排水検討会の委員がいるときに決めればよかったのだが。
- （県）ここにいない先生が多いので、今というのは少し難しい。
- （委員長）わかった。27日が第1候補だと、それでいいか。後でそれは決まり次第お知らせするというので、いいか。
- （住民会議）はい。

### <公害等調整委員会>

- （公調委）特にない。

## VI 閉会

- （委員長）以上で、本日の委員会を終了する。今日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

以上の議事を明らかにするため、本議事録を作成し、議事録署名人が署名押印する。

平成 年 月 日

議事録署名人

委員

委員